

がん研究開発費 21分指-8-⑤ 「平成23年度 第2回木崎班班会議」  
 「多発性骨髄腫の病態解明と分子基盤に基づく効果的な分子標的療法の確立に関する研究」

日時： 2012年2月4日（土） 9：50～15：00

場所： 慶應義塾大学薬学部（芝共立キャンパス） 3号館 11F-1101室

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/shiba>

TEL 03-3434-6241

9:50~10:00	連絡事項 * 木崎 昌弘（埼玉医科大学総合医療センター）		
セッション1	* 座長：渡辺 隆（国立がん研究センター中央病院）（持ち時間：発表+Q&A）		
1 10:00~10:20	李 政樹 (飯田 真介)	名古屋市立大学大学院 腫瘍・免疫内科学	小胞体ストレスを標的とした分子標的薬の探索 (トコマイシンによる抗腫瘍効果:続報)
2 10:20~10:40	安倍 正博	徳島大学大学院 生体情報内科学	Lenalidomideとゾレドロン酸による $\gamma\delta$ T細胞の抗骨髄腫活性の増強効果
3 10:40~11:00	得平 道英 (木崎 昌弘)	埼玉医科大学総合医療センター 血液内科	金製剤オーラフィンによる再発・難治骨髄腫に対する臨床的效果と将来展望
セッション2	* 座長：安倍 正博（徳島大学）（持ち時間：発表+Q&A）		
4 11:00~11:20	渡辺 隆 帖佐 瑞希	国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科	ボルテゾミブの薬理作用と臨床効果の個人差を末梢血から予測するための 共同研究 ~進捗状況~
5 11:20~11:40	飯島 史朗 (服部 豊)	慶應義塾大学 薬学部 病態生理学	M蛋白L鎖に結合した糖鎖構造解析に基づく病態解析
6 11:40~12:00	宮下 要 安部 康信	九州がんセンター 血液内科	多発性骨髄腫におけるマイクロサテライト不安定性の実態とその意義
12:00~13:00	昼 休 み ★ 班員：1102室にて、昼食および打合せ		
3 特別講演	* 座長：木崎 昌弘（埼玉医科大学総合医療センター）（持ち時間：講演+Q&A）		
7 13:00~14:00	田川 博之	秋田大学大学院 血液・腎臓・膠原病内科学	骨髄腫幹細胞様分画に特異的に発現する治療標的遺伝子の同定
セッション4	* 座長：飯田 真介（名古屋市立大学）（持ち時間：発表+Q&A）		
8 14:00~14:20	池亀 彰茂 (安倍 正博)	徳島大学大学院 生体情報内科学	骨髄腫におけるSP分画の同定と抗体療法の効果
9 14:20~14:40	保仙 直毅	大阪大学大学院 生体情報科学	骨髄腫幹細胞・前駆細胞研究の現状、および今後の課題
14:40~15:00	総合討論		

参加は自由です（参加の場合はできましたら事前に連絡いただくと幸いです）。

問い合わせ：木崎 昌弘（埼玉医科大学総合医療センター血液内科）

E-mail: makizaki@saitama-med.ac.jp